

(学年) 第2学年, (教科・科目) HR 活動・人権

一斉学習

(単元) いろいろな人の立場で考える

(本時のねらい)

本学級の生徒の多くは、心優しく他者への配慮をしながらコミュニケーションを取ることができている。しかし、周囲の空気や雰囲気の流れやすいところがあり、集団の中で人を傷付けてしまうことがある。今後生徒が学校を卒業し、就職をしても他者とのコミュニケーションをとることが求められる。共生社会の実現が求められている現在、一人一人が他者を尊重し、長い人生をたくましく生きていく力を育むことが重要である。HR 活動を通して自分の大切さと同時に他者の大切さを理解し、相手の立場にたって物事を考える、相手の気持ちを考え行動することのできる柔軟性を兼ね備えた人材の育成をめざし、本単元を設定した。

(ICT 活用方法)

イラストや画像データを活用することで、共生社会や合理的配慮の提供など、HR 活動の内容を理解しやすく、学ぶ意欲を喚起することができる。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	I C T活用方法
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> イラストを見て、何に見えるか考える。 	<ul style="list-style-type: none"> イラストを見る視点を変えることで見えるものが異なることに気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 電子黒板を用いて画像を図示する。
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> 人権啓発ポスターのエピソードを読み、感じたことをまとめる。 エピソードを読んで、それぞれの立場に立って感じたことを発表する。 障害者差別解消法のリーフレットを読み、共生社会や合理的配慮について考える。 本時の活動を振り返り、自分に出来ることを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 感じたことをワークシートに記入させる。 クラスメイトの意見を聞いて様々な感じ方やとらえ方があることを気付かせる。 リーフレットを読み、ワークシートに記入させる。 ワークシートに記入させ、自分に出来ることを考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 電子黒板を用いて画像を図示する。 電子黒板を用いて画像を図示する。 生徒1人1台端末で授業支援クラウドアプリのワークシートを用いて、電子黒板に投影することで生徒の意見を共有する。 電子黒板を用いて画像を図示する。 政府広報のHPを電子黒板に写し、社会にあるバリアについて理解を促す。

まとめ 5分	・本時の授業を振り返り、まとめを行う。	・本時の内容を確認させる。	
-----------	---------------------	---------------	--

(生徒の反応と課題、改善を要する点)

人権啓発ポスターやイラスト等，HR 活動においては教職員の言葉と生徒の想像だけに任せていては無理がある。そこで画像等の視覚的情報を用いることで，生徒の理解を促し，興味関心をもたせることができた。また，授業支援クラウドアプリの機能を活用することで生徒全員の考えを電子黒板に映し出し，互いの意見を共有することができた。自分や友達の意見が電子黒板に出ることは生徒にとってうれしいようで，普段は自信をもって発表することが苦手な生徒も，主体的に授業に参加できていた。課題としては，授業支援クラウドアプリの機能に対する習熟が足りないため，基本的な機能しか使用できなかった点である。また，生徒1人1台端末の操作に関しても未熟な部分も多いので，生徒とともに学習機会を通じて成長していきたい。